



# なぎちょう 奈義町

6月議会

# 議会だより

## センターゾーンから見上げた那岐山

## 171号

令和6年8月1日発行

発行 奈義町議会  
編集 議会広報委員会

〒708-1392

岡山県勝田郡奈義町  
豊沢306-1

☎(0868) 36-4191

### 【おもな内容】

- 6月定例会・臨時議会で決まったこと …… 2～3ページ
- 総務常任委員会、まちづくり常任委員会、  
こども園・中学校調査特別委員会報告 …… 4～5ページ
- 一般質問（8名） …… 6～13ページ
- 勝田郡議会議員協議会総会、表紙の紹介、政務活動費、編集後記 …… 14ページ

# 関連事業に対し 議論白熱

令和6年第2回定例議会が6月5日から14日まで開かれ、**条例**2件、**補正予算**2件、**契約**4件、**報告**2件、**同意**2件、**陳情**1件、**その他**1件の合計14件を審議しました。

## 《 条例 》 2件

議案	概要と質問等	審議の結果
奈義町行財政改革推進委員会設置条例	社会経済情勢の変化に対応した簡素で効率的な町政の実現を推進するため委員会を設置する。 委員の選定基準等について質疑があった。	全員一致で可決
那岐山麓山の駅設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例	宿泊休憩施設（コテージ）の利用料について、現行1泊17,000円以内から改正後22,000円以内に上限を引き上げるもの。 値上げは、施設利用者数の減少につながらないか、との質疑があった。	全員一致で可決

## 《 補正予算 》 2件

議案	概要と質問等	審議の結果
令和6年度一般会計補正予算（第2号）	歳入歳出予算の総額に1億7,000万円を追加し、68億3,000万円とする。 歳入において、ALT関連事業の財源に関する質疑があった。	賛成7、反対2で可決
令和6年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算の総額に490万円を追加し、8億4,507万3,000円とする。	全員一致で可決

## 《 契約 》 4件

議案	概要と質問等	審議の結果
法面对策工事（町道梶並線）工事請負契約の締結について	法面の落石対策工事（皆木地内） 相手方：森安建設(株) 金額5,830万円	全員一致で可決
奈義小学校トイレ改修工事請負契約の締結について	小学校トイレの洋式・乾式化工事（第3期） 相手方：(株)E-アットIM 金額5,489万円	全員一致で可決
奈義町文化センターホール備品納品業務に係る物品売買契約の締結について	文化センター大ホールの座席の納品業務（設置を含む） 相手方：(株)芦田建設 金額7,480万円 請負業者の業種について質疑があった。	全員一致で可決
奈義町立中学校改築工事請負変更契約の締結について	契約に基づく物価上昇への対応等に伴う金額を7,934万3,000円増額し19億2,448万3,000円とする。 解体工事の処分量について質疑があった。	賛成8、反対1で可決

# 6月 定例議会

令和6年  
6月5日～14日

# ALT(英語指導助手) 賛否両論、

## 《同意、陳情、その他》4件

議案	議案の名称	結果
同意	奈義町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 今井 映江 氏 (久常/再任)	全員一致で可決
	奈義町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 芦田 正弘 氏 (広岡/新任)	全員一致で可決
陳情	介護保険の訪問介護基本報酬引き下げの撤回を求める陳情書	総務常任委員会 へ付託
その他	所管事務等の調査について	全員一致で可決

(その他、報告2件)

## 第2回 臨時議会 (令和6年4月23日)

※ 今議会は、議員4名が町長に対して行った臨時会招集請求により開催

### 《設置》1件

議案	概要	審議の結果
ALT招へいに伴う地方交付税問題についての議会調査特別委員会の設置について	ALT招へいに伴い交付される地方交付税について、措置されなくなった、その経緯などの調査・研究を行うことを目的に設置。議員全員(10名)で構成。	賛成4、反対5 で否決

(その他、専決処分の報告2件)

## 第3回 臨時議会 (令和6年5月9日)

### 《補正予算》1件

議案	概要	審議の結果
令和6年度一般会計補正予算(第1号)	文化センター大ホール改修に伴う座席整備について、工事請負費から7,700万円を備品購入費に組み換えるもの。	全員一致で可決

(その他、条例改正1件)

# 委員会報告

## 総務常任委員会

総務常任委員会は、総務課、税務住民課、こども・長寿課、出納室、学事課、生涯学習課、学芸図書課が所管する事業について審査を行います。

■委員長：岡 立 ■副委員長：野々上美智明 ■委員：岡部英生・森藤政憲・小阪四郎

### 【税務住民課】

#### 一時多量ごみ収集について

**Q** 収集業者は指定の5社以外にも申請があったのか。

**A** 5社申請があり、審査を経てすべて許可業者となった。

**Q** 処分の手数料は、各業者で決めるのか。

**A** ごみ自体の処分手数料は、クリーンセンターで誰でも10kgにつき55円かかる。収集運搬委託料は、各業者が決めることになっている。

### 【生涯学習課】

#### 文化センター改修について

**Q** 改修工事と分離し、椅子を備品として購入すると、どの程度、経費削減できるか。

**A** 諸経費が2割程度は減ると考えている。



座席が撤去された文化センター大ホール

### 【総務課】

#### 職員提案制度について

**Q** 優秀賞等の内容は。

**A** ペーパーレス化に向けたファイリングシステムの導入、公有財産のオークション等の提案があった。

### 【学事課】

#### A L T の状況について

**Q** A L T の現状と課題は。

**A** 全体として非常に順調。小学校の低学年は、慣れるまで苦労しているが、複数のA L Tをいかす取り組みを計画している。

## まちづくり常任委員会

まちづくり常任委員会は、情報企画課、未来創造課、産業振興課、地域整備課が所管する事業について審査を行います。

■委員長：上原伸介 ■副委員長：中井泰洋 ■委員：芦田 元・須一玲子・定森久芳

### 【情報企画課】 ペーパーレス化について

**Q** 庁舎ではペーパーレス化が始まっている。議会についても、今後ペーパーレス化を検討されているか。

**A** 今年度、議会と調査、研究をしていきたいと考えている。

### 【地域整備課】 農業用ため池について

**Q** 農業用ため池の改修工事は、多面的機能支払交付金の活用もされているが、どのような基準で取り組むのか。

**A** 補修の必要性、老朽化が著しいものに緊急性を加味し、優先順位をつけて順次整備を行っている。

### 【産業振興課】 山の駅について

**Q** 山の駅は、町民の憩いの場所として作られたと記憶している。あくまでも町民主体の山の駅であって欲しいと思うがどうか。

**A** 山の駅のコネクトも踏まえて、従業員とも話をしている。スタッフが山の駅を愛し、町内また町外からも多く愛されるような施設にしていきたい。

## こども園・中学校調査特別委員会



(現在の中学校建設現場)

■委員長：小阪 四郎  
■副委員長：芦田 元  
■委員：その他議員 8名

6月3日委員会を開催し、中学校建て替えに係る事業費増と進捗状況について説明を受けた。

**Q** アスベストの除去について補助金は交付されるのか。

**A** 解体に対して学校環境改善交付金という文部科学省の補助があり、その中にアスベストの除去も含まれている。

Q 厚生労働省と県発表合計特殊出生率の関係と今後の取組は



野々上美智明 議員

A 奈義町単独で示された合計特殊出生率を重視する(令和元年度2.95等)

**質問** 今年4月24日に人口戦略会議から発表された分析結果では、奈義町は消滅可能性自治体から脱却した。この発表の受け止めを伺う。

**答弁 町長** 10年前の発表時における奈義町の20歳から39歳の女性人口の減少率が改善され、今回発表された消滅可能性自治体から外れる形となった。

改善された点については、平成14年に合併をしない選択をして以降、町勢維持のために先人の方々が積み上げてこられた努力と、若い世代の定着を図るための様々な施策が実を結んだと受け止めている。

**質問** 合計特殊出生率について、4月に厚生労働省が発表したものと、今まで岡山県が発表していた数値、これはどのように受け止めるべきか伺う。

**答弁 町長** 厚生労働省の合計特殊出生率はベース推定という算定方式を用いている。具体的には、岡山県の公表数値は奈義



奈義町ホームページより

町単独の人口動態から算出されているが、ベース推定では津山市を中心とする二次保健医療圏域全体の出生率を奈義町単独数値に加えて計算されたもので、津山市の合計特殊出生率1・58をベースに低く抑えられることとなっている。

厚生労働省発表の1・81、岡山県公表の令和元年2・95、令和2年2・21、令和3年2・68のどちらも正しいが、県発表の自治体単独で示された数値を基準に奈義町の施策に反映していく。

**Q** 共同墓整備事業と今後の取組は  
**A** 自治体として最終的な救済の制度と準備は必要

**質問** 共同墓整備事業の目的、必要性和、今後の取組みについて伺う。

**答弁 町長** 独居老人や子どものない夫婦が増加しており、個人墓の管理や後継者がいないケースが増えている。安心して暮らせる環境づくりの一つとして、お墓に関する課題に対応していくことは町の責務である。

補助金制度では寺院等で供養する場合、政教分離に抵触する可能性もあり、町が共同墓を設置し運営する。奈義町に縁がある方を利用者として想定し、費用も負担を少なくしたい。

今年度から設計にかかり、来年度、施工(建立)、令和8年度当初から使えるようにしたい。



上原 伸介 議員

## Q 起業者支援事業に新たな視点を

### A 研究していきたい

**質問** 少子高齢化が進む状況において、限られた人口のなかで町の存続を考えたときに、必要なのは、やはり交流人口の確保だと思う。その上で、移住者も含め起業がしやすい環境を整えておくことが肝要であると考えている。

また、より多くの方に来町していただくためには、店舗数が増えた方が有利だと思う。そういう意味で、起業する方への下支えが大切だと考えている。

今ある問題に対して、例えば、空き家を利用しての起業や、事業継承してくれる起業者に追加の補助金を出すなどの施策をとってみてはどうか。

**答弁 町長** 交流人口を確保していくことは、町の活性化のためには欠かせない要素のひとつであると考えている。そのことを踏まえ、特に令和5年度からは助成金を引き上げ、支援内容を充実させている。個人で起業される方への助成は上

限を200万円に設定しているが、補助申請がこれに達していないことも多い。現時点では、起業の際にかかる経費への助成は十分に足りていると考えている。

これまで起業支援も空き家の対策も取り組んできたが、これらを併せた取り組みについては、今後研究していきたい。

### Q 全般的な道路環境整備を A 適切な対応を行って いく

**質問** 町内各所で道路の凹凸や橋梁の劣化が見受けられる。これらは来町者に対し景観的にも影響を与える部分である。安全性もさることながら、そうした面からも適切な補修を随時行っていくべきだと思う。

また、通学路でありながら歩道がないところや、街灯がない区間も存在する。こうした箇所

への対応を計画的に進めていくべきだとも思う。街灯については、基本的に町が全額負担で設置できないか。

**答弁 町長** 道路点検や調査を行い、道路舗装維持修繕計画を策定するなど、早急に修繕が必要なものから優先順位をつけて修繕を行っている。通学路については、保護者が中心となって最も安全な経路を選択しているものと認識している。地区懇談会などを通じて、要望があれば適宜対応している。

街灯に関しては、必要な箇所に対して地区に設置をお願いしている。町としては設置費用の2分の1を補助しているが、これが現在の物価に合わないということであれば、見直す必要があると考えている。

# Q ALT派遣契約に伴う 不足財源の措置は



芦田 元 議員

## A 交付税等決まる時点で 補正する

**質問** ALT（英語指導助手）

派遣契約8316万円のうち、5760万円が地方交付税として交付されることを織り込んで策定された6年度予算だが、交付税の対象とならないことが判明した。結果、全額町負担となる。穴の開いている予算の財源の手当てを早急に措置すべきではないか。

**答弁 町長** 地方交付税の額は、まだ確定していない。また、補助金や基金も活用して、全体の中で精査し補正予算を行う。

**Q** ひきこもりの方等が働く支援の仕組みと助成を

**A** 関係組織と連携し、支援していく

**質問** ひきこもりの方等の社会参加を促せるような、きっかけ作りができる支援組織を作る。そして働く支援ができる就労の場に誘い、就労の準備、仕事体

験等、徐々にステップアップできるトレーニングをしていくように働きかけを行ってはどうか。また支援助成が考えられないか。

**Q** 精米施設の再検討を  
**A** 県内の事業者も含めて取り組みを検討

**質問** 精米施設の目的は奈義町産米がより良い評価を得る事である。PRを拡大するにはブランド力、ニーズに合うアイテムの検討が課題である。5億6千万円が目標なら精米施設の建設よりも専門の精米業者に委託すべきではないか。本来の事業が遂行できるようにし、町全体の産業振興になるように再検討すべきと思うが考えを伺う。

**答弁 町長** 既存の供給量とこ

れからの目標を考えれば難しいとの判断もあり、専門業者に委託する取り組みも併せて検討している。

**Q** 中学校テニスコート設置の検討結果は  
**A** 部活の地域移行も含めてまだ時間を要する

**質問** 令和3年1月に1206名の署名で町長、教育長に陳情がなされ、3年が経過している。現在、B&Gも校内グラウンドも安心して練習ができる環境が整備されていないのが実情だと思う。中学校の建設中に検討したいとの返答であったが、具体的な内容はできているのか伺う。

**答弁 町長** 状況の変化もあり、学校や地域のクラブ活動のあり方について、部活の地域移行も含め、もうしばらく協議検討をしたい。



小阪 四郎 議員

## Q 豊沢住宅跡地利用は具体的に進展しているか

### A 有効な活用方法を決定したい



早くしないと森になる（豊沢住宅跡地）

**質問** 子育ての町として知名度も上がり、奈義町に住みたい若者は多いと思う。自信を持って住宅政策を進めるべきと思うが考えを伺う。

**答弁 町長** 大規模かつ長期にわたる事業であり、町の財政負担や住宅需要の見込み、将来像など十分検討し、有効な活用方法を決定したい。

**Q** オートキャンプ場の計画は  
**A** 慎重に対応する

**質問** オートキャンプ場を計画し、地主の方々の了解も得たが頓挫した経緯がある。今でも土地の買入れを待っている方もいる。町の考えを伺う。

**答弁 町長** 京阪神を中心に集客が見込まれ、町の商工観光振興へ期待が寄せられていた。賛否が分かれる状況だが相手もある事なので、慎重に対応する必要がある、時間をいただきたい。

**Q** ALTの配置は将来を見据えた決断か  
**A** 継続して、ぜひ成果をだしたい

**質問** ALT12名の配置による、英会話でのコミュニケーション能力の向上、異文化への理解を深めるなど、将来を見据えて決

断した覚悟を伺う。

**答弁 町長** 子どもたちの語学のスキルアップ、生きる力アップを確信している。子どももの成長から町の発展にもつながると思う。継続して、ぜひ成果をだしていきたい。

**答弁 教育長** ALTが子どもたちと一日中、学校生活を共にしていることで、異文化理解等につながる。真の豊かさを持った町をつくる子どもたちに育ってくれると信じ、ALTの複数配置を価値あるものにできるよう、頑張っていきたい。

**Q** ふるさと納税返礼品  
用米の確保は  
**A** 確保に向け頑張る

**質問** 返礼品用米の予定量確保に向け農家は対応できるのか。  
**答弁 町長** 価格の支援を行い、農地維持や安定した収入確保を通じ、予定量確保をめざしたい。

Q 奈義有機センターの施設、設備の改修について



定森 久芳 議員

A 管理委託しているJAと協議のうえ、今後の方向性を考えたい

**質問** 昨年6月の一般質問で、奈義有機センターの施設の修繕について質問したが、現状はどうなっているか。

**答弁 町長** 有機センター運営委員会ではJAより修繕の報告を受けた。JAと協議の上、今後の方向性を考えたい。

**質問** 改修の補助事業の対象とするために、費用の少ない小規模なペレット状堆肥の製造施設の整備を検討してはどうか。

**答弁 町長** ペレット状堆肥を、どの程度農家が利用するか等含め慎重に検討する。

**Q** 「奈義ちゃんねる」終了後の対応について

**A** 奈義町アプリ、防災無線等を利用して情報発信する

**質問** 町は奈義町アプリで情報発信を推進しているが、そのアプリの登録者数は何人か。

**答弁 町長** 登録者は3475

名で、町内の世帯数を超えて普及している。

**質問** 奈義町アプリのホームページの使い方がわかりにくいと聞くと、修正できないか。

**答弁 町長** 操作性の向上に努めていきたい。

**Q** ALTはどのような活動をしているか  
**A** それぞれの校・園で、英語の活動や授業に限らず活動をしている

**質問** 4月から、奈義町に12人のALTが来られて活躍しているが、具体的にどのような活動をしているのか。

**答弁 教育長** こども園では、音楽や体を使って英会話の基礎を学んでいる他、通常の保育でも大きな戦力となっている。

小学校では、授業に複数人のALTが入っており、英語以外の授業、クラブ活動、行事にも

参加している。

中学校では、授業づくりのよき相談相手となり、さらに授業以外にも積極的に生徒と関わりを持つよう心がけている。それぞれの校・園で、なくてはならない存在になりつつある。



小学校6年生英会話授業公開



須一 玲子 議員

## Q 早く高齢者の居場所づくりを進めて欲しいが

### A 旧幼稚園を交流の場として検討

#### 質問

昨年の議会で高齢者の居場所づくりについて質問したが、目に見える形で進んでいるように思えない。1日でも早く進めて欲しいがどうか。

**答弁 町長** 旧滝川つくし幼稚園を高齢者と地域の子どもたちが利用できる交流の場として検討したい。



おとなの“修学旅行”を楽しもう！

#### Q

山の駅を、町民憩いの場に

#### A

一人でも多くの町民に楽しんでもらえる施設にしたい

#### 質問

山の駅は、町民にとって憩いの場所であって欲しい。さと丸バスを利用し高齢者が楽しめる機会をつくり、町民が少なくとも一度は山の駅を楽しめるようにしてはどうか。

**答弁 町長** 山の駅は、観光の拠点、本町の農畜産物の食材提供施設、さらに、地域住民が活性化するための施設である。各種イベントの企画、新メニューの開発等、多くの町民皆さんが山の駅を楽しんでもらえるようにとの思いで行ってきた。さと丸バスも利用していただきたい。

#### Q

町長の言う「みえる、きける」は、まだまだ、できていないように思えるが

#### A

十分な周知に至っていない事は反省

ないか。

A L Tの問題など、町民の皆さんには疑問の声がある。町外の人に評価されるよりも、町民が良い町だと思えるように努力をする必要があると思う。町長の「みえる、きける」は、まだまだできていないように思えるがどうか。

#### 答弁 町長

結婚について希望を持つ方の後押しをする支援は必要と考えている。

新たな事業について議会への説明、広報紙や行政懇談会など必要に応じて説明をしてきたが、十分な周知ができていない事は反省している。広報紙のあり方等も検討し、今後、努力したい。

**質問** これからのまちづくりを考え、新婚世帯への町独自の祝いのお気持ちを表すことはでき

**Q** ALTは、特定業者前提ではなかったか

**A** 何をもって特定業者前提と言われるのか全く理解できない



森藤 政憲 議員

**質問** ALTの業者選定は、特定の業者前提で行われたのではないか。一人当たり、693万円の一番高い業者を選んだ。また、明細が分からないまま、業者を選んだのか。

奥町長は、異論を許さない雰囲気がある。奈義町全体の代表としての町長にふさわしいか。

**答弁 町長** 特定の業者前提、ということはない。見積書について提出されている。総額と一人当たりの単価が分かればいいので、それ以上の資料

(明細)は求めていない。

異論を許さないとはいっていないが、そういう風な受け止められないよう、頑張りたい。



物価高騰の中、水道料金も負担に

**答弁 町長** 国と県で計算の仕方がちがう。国が出した数値も正しいし、必要な時に必要な数字を使っていきたい。

**Q** 水道基本料金の減免などで物価対策を  
**A** 今後、適切な時期に検討

**質問** 今、物価高騰は留まる気配がない。物価対策として、例えば、水道基本料金の減免を実施してはどうか。

**答弁 町長** 国及び県の支援状

況などの動向を見ながら、適切な時期に検討したい。

**Q** 合計特殊出生率は国の発表と大きなギャップがあるが

**A** 使う目的で数字も違う

**質問** 厚生労働省は5年ごとの合計特殊出生率を発表し、奈義町は1・81となっている。奈義町の発表の数値と大きなギャップがあるが、町長はどう説明するのか。



岡 立 議員

## Q さと丸バスの休日運行は

### A 必要な状況になれば研究する

**質問** 安価で便利に使えるようになったさと丸バスは、急激に利用が増えている。イベントの多い休日にも使えるようにできないか。

**答弁 町長** 選挙やイベントでは運行している。定期的な運行は考えていないが、必要な状況になれば研究したい。

**質問** さと丸バスの予約方法を便利にするために、電話だけでなくスマホのLINEなど、他の方法は考えられないか。

**答弁 町長** LINEの様な使い方が、奈義町アプリの中でできないか、とと思っている。すぐにはできないが検討したい。

**質問** 何回でもお願いする。難しいのは承知しているが、町外へのさと丸バスの運行はできないか。

**答弁 町長** 町外へは運行できない。今、お互いに乗り合わせる「※ライドシェア」に期待をしている。もう少ししばらく待って欲しい。



さと丸バスで元気にお出かけ

※ライドシェア：一般に車に乗っている人が同じ方角へ行きたい人を自分の車を使って有償で送ること

**質問** こども園は親育ちを応援するのも仕事のひとつだと思っている。そのために、お父さんに一日保育士体験をしてもらってはどうか。

**答弁 教育長** 園長とも相談をして、希望者を対象に募集し、やってみたいと思う。全員というのは難しいと思うが、そういう機会をつくっていききたいと思う。

**Q** こども園での生活を充実させるための取り組みは  
**A** 異年齢の子どもたちが一緒に暮らすメリツトを生かしたい

# 勝田郡議会議員協議会総会を開催

5月15日、勝田郡議会議員協議会（奈義町議会、勝田町議会で構成）総会を奈義町で開催しました。勝田

郡議会議員協議会役員の仕事の報告、令和5年度の事業報告と決算、令和6年度の事業計画と予算等を協議



しました。

近年、奈義町と勝田町で交流がない状況が続いている事について残念に思っているとの声が多数あり、交流を深めるためにも研修をすべきとの意見が出され、今後、役員会で検討することになりました。

## 令和5年度後期分政務活動費報告（令和5年10月～令和6年3月）

議員氏名	収 支 報 告 額 (実績) 単位:円							支給決定額	政務活動費の主な使い道
	調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	合計		
定森久芳		13,234	840		2,970	11,675	28,719	28,719	「定森ひさよし新聞」発行他
芦田 元	40,537				2,420		42,957	42,957	ソーラーシステムについての調査研究他
小阪四郎					106,279		106,279	60,000	「地方自治法質疑応答集」他購読料
森藤政憲					9,972	4,038	14,010	14,010	「森藤まさのり議会だより」発行他
計	40,537	13,234	840	0	121,641	15,713	191,965	145,686	

※その他の議員は、今回使用していません。

### 表紙の写真

センタービルレジ北から眺めた那岐山。正面から捉えた1枚です。

### 編集後記

「今年は梅の実がならんな。」との嘆きが……。そういえば、グイビ（ぐみ）の赤い実も全然見られませんでした。異常気象の影響でしょうか。気候変動対策は待ったなしです。

ところで、先の国会で地方自治法の改定が論議となりました。「コロナなどの感染症が起った時、災害時の対応等で国の権限を拡大する」というもの。地方自治の権限が縮小するとの懸念も表明されました。自治とは文字通り、自ら治め、自ら決めるものです。今後の動向が注目されます。（森藤政憲）

### 【編集委員】

委員	委員長	森藤
副委員	副委員長	政憲
須一	芦田	元
定森	玲子	
久芳		
野々上	美智明	
岡部		
英生		